

障害者を含む生活困窮者の自立支援に向けて、果樹栽培、他の事業者の農福連携商品も含めた商品開発、加工・販売など、「商工農福連携」を目指した取組を実施。

農業経営体

広島県
三原市



基本情報

設立:R4年/農福連携取組開始:R3年

取得認証等:ノウフクJAS

概要

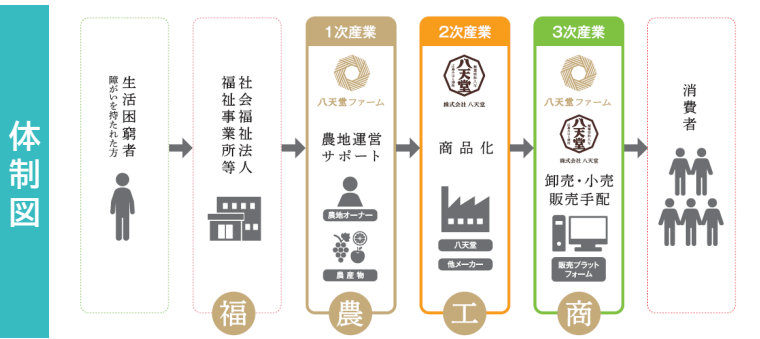
主力商品

(農作物)ぶどう、いちじく

(加工品)クリーむパン、バターサンドウィッチ

特徴的な取組

環境保全型農業



TEL:0848-62-2645/Mail:y_hayashi@hattendofarm.co.jp

URL:https://hattendofarm.co.jp

きつかけ

人

を

耕

す

取組

地域

を

耕

す

未来

を

耕

す

R3年

R3年に社会福祉法人宗越福祉会と共に耕作放棄されたぶどう園を受け継ぎ、生活困窮者(障害者含む)の自立支援を目指した農福連携型就労訓練事業を開始。

- 人を耕す
- 生活困窮者には県の最低賃金以上の給与を支払い、自立支援を図るほか、特性に応じた働き方を提供し、多様な支援環境を整備。
 - 宗越福祉会、広島県立黒瀬高校、八天堂ファームで協定を締結。生活困窮者の予備軍である若者には教育の場を提供し、農福連携の人材創出を目指す活動をR5年から開始。

- 地域を耕す
- R4年から地域のスーパーでぶどう販売を開始。収穫量は4,000房(R3)から14,000房(R6)に増加し、R6年は4つのスーパーで販売。
 - 地域高齢者の雇用、障害者による選果や包装のほか、県立三原特別支援学校との商品開発や、高校生のボランティアの受入れも実施。

- 未来を耕す
- 「ノウフクの理念の啓蒙・共生社会の実現」を目指し、岡山県や岐阜県の事業者の農福連携産品を活用してジャムや「クリーむパン」を開発し、商品開発や販路拡大に取り組む。ノウフクJASを取得。
 - R6年に広島県と3市(三原市、竹原市、東広島市)と連携して、「農福コンソーシアムひろしま」を立上げ。

障害者等の賃金	農作業に関わる障害者数	農地面積	コンソーシアム加盟事業者
時給900円(R3) →時給1,020円(R6)	4人(R6)	81.29a(R5)	7事業者(R6)

- 成果
- ひきこもりの状態にある者がほ場での勤務をきっかけに運転免許を取得するなど、行動が変化。
 - 農福連携産品を活用した「バターサンドウィッチ」を開発し、「ナチュラルローソン」で販売されるなど、積極的に販路を開拓。